

## ICT介護関連資格の紹介



東京未来大学福祉保育専門学校  
東京都立産業技術高等専門学校

小林宏気

©Hiroki Kobayashi

### 自己紹介

**小林宏気 (こばやしひろき)** 神戸市生まれ  
博士 (保健医療学)・修士 (工学・経営情報学・保健医療学・芸術)



#### 【職歴】

- 株式会社オーテックジャパン (日産)
- 学校法人帝京大学・本部
- 学校法人帝京科学大学
- 社会福祉法人善光会 サンタフェ総合研究所 他

#### 【現職】

- 産業技術総合研究所・参加研究員
- テクノイド協会福祉用具プランナー管理指導者養成研修・講師
- ICT介護教育研究会・世話人
- 一般社団法人ワイズ住環境研究所・理事 他

理系	文系	医療系
義肢装具	福祉用具 /車両	介護ロボット /ICT
開発現場	教育現場	介護現場

©Hiroki Kobayashi

## 全体背景

- 2021年、見守り機器100%の導入やインカム等のICTの使用、安全体制の確保や職員の負担軽減等を要件に、**特養（従来型）の夜間の人員配置基準を緩和**
- 2024年度の介護報酬改定において、見守りセンサーやインカム等のICT活用がある場合は**特定施設において人員配置基準が緩和**
- 厚生労働省と経済産業省は2024年6月、「介護テクノロジー利用の重点分野」（旧ロボット技術の介護利用における重点分野）の**9分野16項目**を設定した
- 壬生ら「介護ロボットの導入に際しては、利用者の状態と使用目的、職員および施設の状態をアセスメントし、**適合する介護ロボットを選定**することが重要」

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001005036.pdf>  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001230329.pdf>  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/juutenbunya\\_r6kaitei\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/juutenbunya_r6kaitei_00001.html)  
壬生ら.介護老人福祉施設における介護ロボット導入の現状と課題.老年社会科学44(1)19-29.2022

©HirokiKobayashi

4

## スマート介護士

介護DXをリードする  
**SMART**  
SMART  
スマート介護士資格



©HirokiKobayashi

6

主催：社会福祉法人善光会

## スマート介護士資格とは

スマート介護士資格は、最先端の技術を駆使して、介護の質と生産性を向上させられる介護士の育成を目的としています。チェック項目に1つでも該当する方は是非、お申し込み下さい!

介護DX・ICT・介護ロボットに興味がある人

キャリアアップのために有望な資格を得たい人

現場のオペレーションを改善したい人

LIFEや科学的介護などの最新情報を学びたい人

©HirokiKobayashi

<https://smartcaregiver-online.studio.site/>

7

## 概要

### Starter（基礎）

業務改善、介護ロボット等に関する基礎知識の確認

※デジタル庁・経済産業省が後援

### Basic／Expert（初級／中級）

業務改善、介護ロボット等に関する初級・中級知識の確認

### Professional（上級）

- ① 介護業務フローを分析し、改善計画を立案する技術
- ② 主要なICTや介護テクノロジーの特性を理解し、活用する技術
- ③ 効果的な研修の企画やOJTを実施し、介護職員を指導する技術

©HirokiKobayashi

<https://smartcaregiver-online.studio.site/>

8

概要

	形式	試験日	費用	
Starter	オンライン (フォーム)	常時受験可 ・20分間	無料	簡便に受験可能
Basic	オンライン (Zoom)	試験日時指定 ・1時間 ・3か月毎	6,800円	同日受験可能
Expert			8,800円	
Professional	対面	3日間	75,000円	Expert合格者のみ (各回4名)

©HirokiKobayashi

<https://smartcaregiver-online.studio.site/>

9



介護スキル × IT知識 で  
介護現場の不安も解決！

infinite field

Casting &

sustainable

capacity





IoT & AI事業  
X  
介護事業

コミュニケーションで現場は加速する。



株式会社まごころ介護サービス

社会福祉法人まごころ

Presented by



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

「IT介護士」事業のご説明

■「IT介護士」とは



■初級の目的

- ① スマホ・タブレット・PC等に抵抗感を持たずに触れることかできること
- ② 介護現場におけるIT機器を使用することかできるようになること

■中級の目的

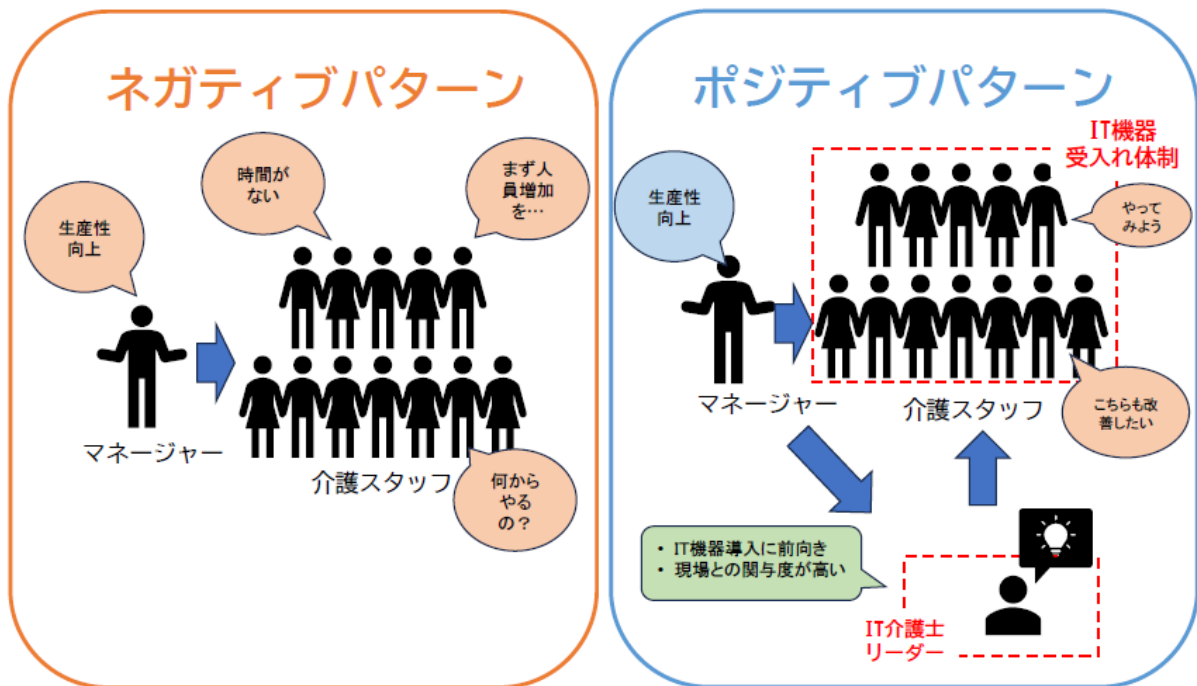
- ① 介護現場で起きるITトラブルに対応できる
- ② 介護現場へITツールを導入・普及できる



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.



# IT介護士の存在の有無で変わる導入時の変化 **介護士™**



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

## 「IT介護士」事業のご説明



### ■IT介護士初級の受講内容



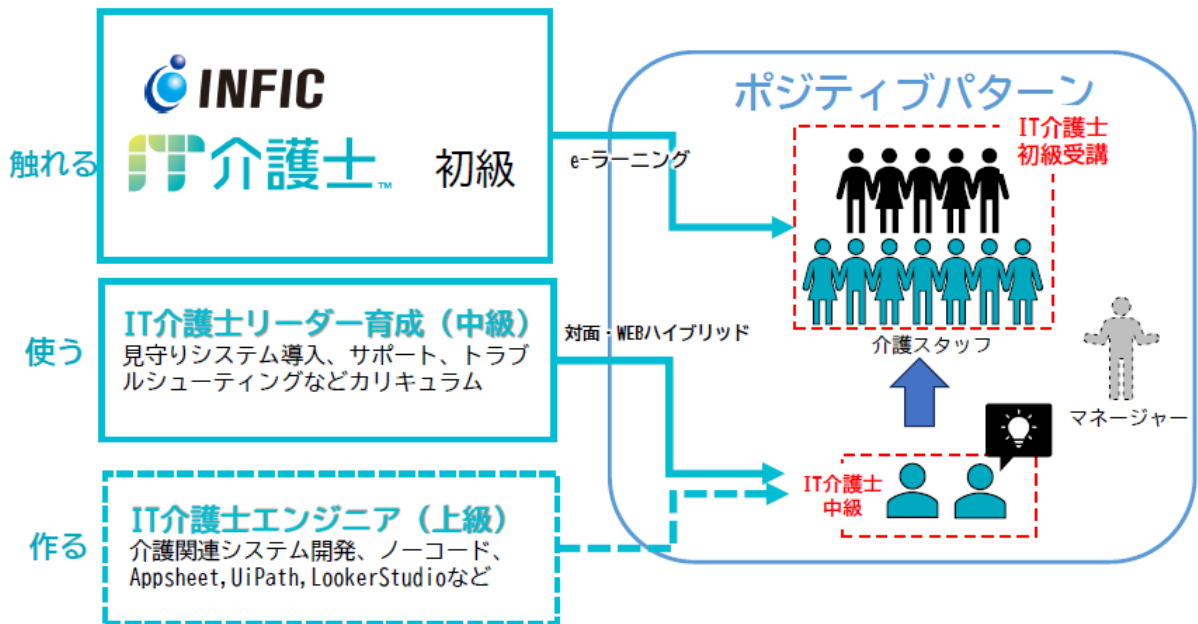
Chapter1	介護業界とIT	4	Chapter7	コミュニケーションツール	134
Chapter2	コンピューターの基礎知識と基本操作	17	Chapter8	情報発信ツール	146
Chapter3	パソコンの基本操作	32	Chapter9	介護ソフト	159
Chapter4	オフィスアプリの基本操作	55	Chapter10	新しい介護の事例	168
Chapter5	モバイル機器 スマートフォン・タブレット	98	Chapter11	情報セキュリティ	179
Chapter6	ネットワーク基礎知識と基本操作	121	用語索引		192

NTTグループ様との共同制作  
一般介護士が触れるIT領域をほぼ網羅

約200ページ  
テキスト+演習

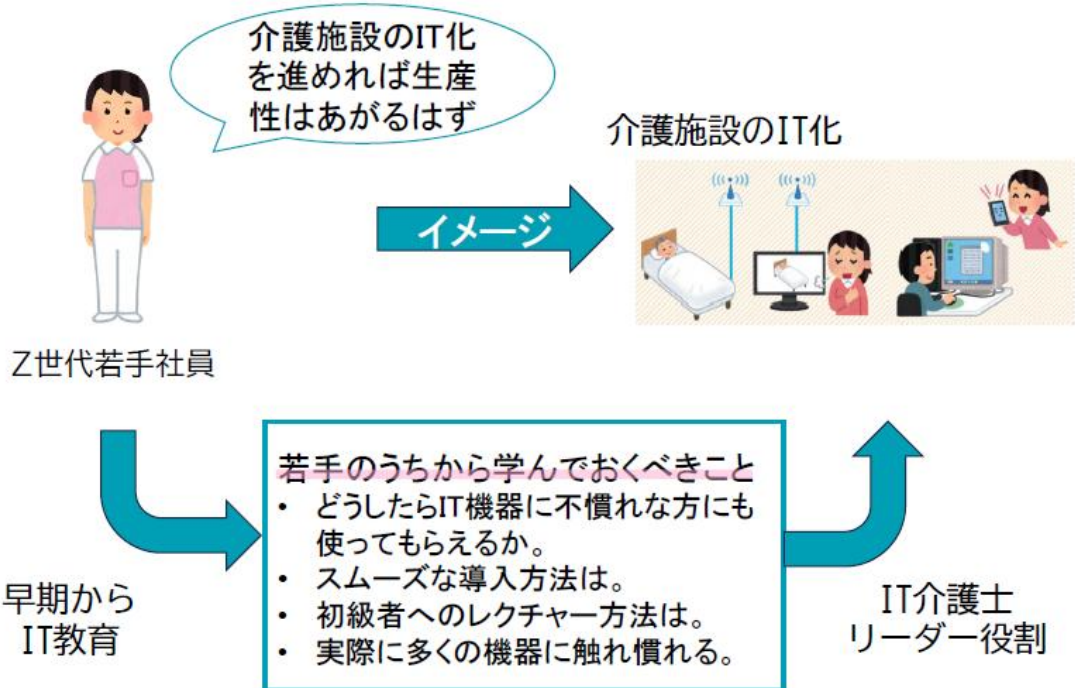
Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

# IT介護士受講階層



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

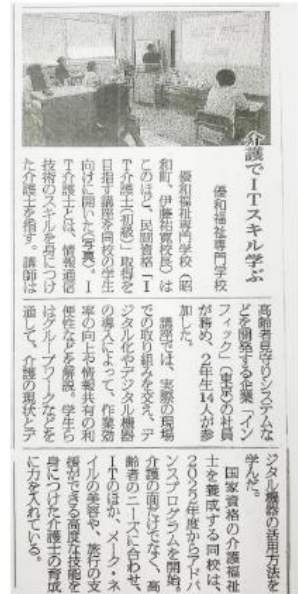
# 若手社員のうちから学んでおくべきこと



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

# 若手社員向けIT介護士教育の一例

## ◎最終学年の学生向けに開催



伊藤学園 優和福祉専門学校 6時間コースの様子

2024年6月21日 山梨新報

Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

# 若手社員向けIT介護士教育

## ◎ディスカッション事例



### グループワーク

◆なぜIT機器を介護現場が受け入れずに活用できないのでしょうか。

その前に・・・

あなたは中学3年生の家庭教師です。来月試験があるのに、部活が忙しいという理由で一向に勉強してくれない生徒がいます。さてあなたは、どんな対応をとりますか？

### グループワーク

あなたは、IT機器を導入する担当に選ばれました。介護現場に新しい見守り機器を導入しましたが、中々見守り機器を使ってくれる様子がありません。

- ◆なぜIT機器を介護現場が受け入れずに活用できないのでしょうか。
- ◆いろいろな理由を考えてみましょう。



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.



## IT介護士リーダーモデル(中級)



Copyright © 2024 Infic Inc. All Rights Reserved.

### 介護ロボットマスター育成講習

主催：北九州市

介護職員の負担軽減等に役立つ介護ロボット等を導入するにあたり、その導入効果の最大化を図るためには、**職場における介護ロボット等の活用を推進する役割を担う専門人材**を配置することが重要となります。

北九州市では、平成29年度から**機器の特性や使用方法**などを理解し、職場に適したロボットを**選択・活用**できる人材の育成を目的として、本市独自の「北九州市介護ロボットマスター育成講習」を実施しています。

## 講習概要

**入門編** 介護ロボットを活用する意義や基本的な知識の習得ができる導入講座です。ご興味を持たれた時にいつでも受講できるよう、期間中は常時動画配信します。

**実践編** 幅広い職場の課題や目的に対して、適切に介護ロボット等を選定し・活用できる講座です。メーカー講師による実機体験もあり、介護ロボットの導入や運用管理を行う方におすすめの講座です。

令和5年度は、「見守り支援」「移乗支援」「アシストスーツ」「介護業務支援」の4種の機器カテゴリのについて講習を行います。

**管理編** 機器活用を含めた業務改善手法や効果的なゴール設定など、職場全体の作業効率を高めるノウハウを先行事例を交えながら習得できる施設管理者向けの講座です。

©HirokiKobayashi

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/hohuku/31600033.html> 14

## 介護ロボットマスター（令和6年度）

### 入門編

内容	開催日	会場
介護ロボット等に関連する社会情勢 介護ロボット等の基礎知識 介護ロボット等の導入効果 北九州モデルの紹介	6月3日 (月) ∩ 11月13日 (水)	YouTube配信 定員100名

©HirokiKobayashi

<https://www.dx-kitakyushu.jp/.assets/2024053002.pdf>

15

## 実践編

内容		機器デモ	開催日	会場
機器の種類と選定 機器の活用方法及び効果 機器デモ・体験	見守り支援	ライフリズムナビ®+Dr. A.I.Viewlife 眠りSCAN DFree	6月12日 (水) 14時～16時	総合保健福祉センター 2階講堂  各定員50名
	介護業務支援	Notice ココヘルパ Buddycom 安診ネット	7月10日 (水) 14時～16時	
	移乗支援	リフトントラム サラフレックス Hug 移乗です	9月17日 (火) 14時～16時	
	コミュニケーション	ロボホン aibo PALRO Chapit	10月15日 (火) 14時～16時	

©HirokiKobayashi

<https://www.dx-kitakyushu.jp/.assets/2024053002.pdf>

16

## 管理編

内容	開催日	会場
介護ロボット等普及の現状と今後の展望 機器を活用した業務改善の進め方 先行事例紹介(導入した施設の声)	11月13日 (水) 14時～16時	Zoom 定員50名

©HirokiKobayashi

<https://www.dx-kitakyushu.jp/.assets/2024053002.pdf>

17

## 背景

新たな研修は「デジタル・テクノロジー基本研修」。厚生労働省も 17 日に発出した通知で、「この研修はデジタル技術を有効に活用できる介護人材の育成に大きく寄与するもの」と説明。広く参加を呼びかけた。

対象は3年以上の実務経験を有し、自らの職場で ICT や介護ロボットの導入、業務改善などに取り組みたい人。資格の有無は問われない。

対象は**3年以上の実務経験**を有し、自らの職場で ICT や介護ロボットの導入、業務改善などに取り組みたい人。資格の有無は問われない。

日本介護福祉士会の及川ゆりこ会長はこの中で、「参加者を有資格者に限定せず間口を広くしたのは、介護サービスの利用者の受益を第一に考えたため」と説明。介護職にはデジタルテクノロジーの導入に不安を抱いている層が一定数いるとし、研修を通じてこうした課題を払拭したいと意欲をみせた。

©HirokiKobayashi

<https://www.joint-kaigo.com/articles/17476/> 19

主催：日本介護福祉士会（令和5年度・老健事業）

**概要** 当会では質の高いケア実践のため、介護ロボット・ICT等の効果的な活用を通して、介護職チームの**業務改善をリードできる人材**を養成する研修を実施します。

（中略）

この研修は、**オンデマンド動画**での個人学習と、**グループワーク**を中心とする集合研修で構成されています。集合研修の期間中は、実際にご自身の勤務先で、業務分析や介護ロボット・ICT導入計画作成に取り組んでいただくことで、介護現場の生産性向上に必要なスキルを実践的に学ぶことができます。

研修を通して、**Googleアプリ**（スプレッドシート、スライド等）、**Zoom**、**ビジネスチャットツール**といったツールも学ぶことができます。

©HirokiKobayashi

<https://www.jaccw.or.jp/news/6235>



デジタル・テクノロジー基本研修の主なカリキュラム

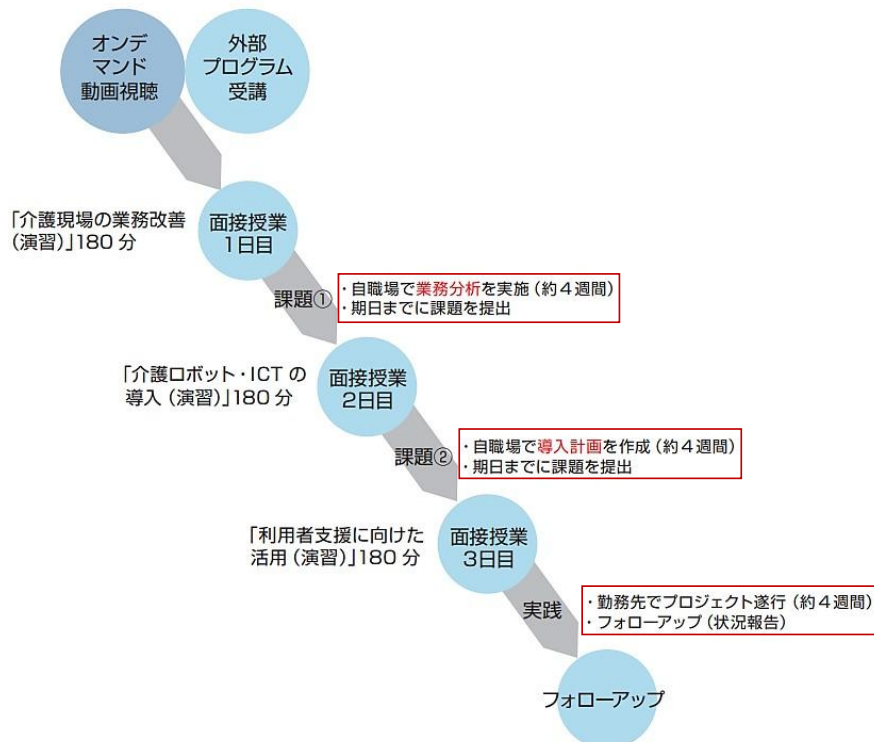
領域	科目等	時間	方法
介護福祉の実践力	介護過程の応用的理解	7時間	オンデマンド 動画
	科学的介護の基礎的理解		
	介護職の倫理と利用者の全人性・尊厳の実践的理解		
チームをまとめる力	チームがまとまり成果を生み出す考え方と方法		
介護現場の生産性を向上させる力	介護現場の問題発見と解決スキル	9時間	面接授業
	介護ロボット・ICT 活用の基礎的理解		
	介護現場の業務改善 (演習)	8週間	課題
	介護ロボット・ICT の導入 (演習)		
	利用者支援に向けた活用 (演習)		
自職場での取り組み課題 (①業務分析, ②介護ロボット・ICT 導入計画の作成)			

©HirokiKobayashi

[https://www.jaccw.or.jp/23R5DT\\_Guideline.pdf](https://www.jaccw.or.jp/23R5DT_Guideline.pdf)

21

研修の流れ



©HirokiKobayashi

[https://www.jaccw.or.jp/23R5DT\\_Guideline.pdf](https://www.jaccw.or.jp/23R5DT_Guideline.pdf) 22

表 21 課題①「業務分析」の達成度

質問 課題①「業務分析」について、サブ講師の助言等は役に立ちましたかという設問への回答／課題①に取り組むのは A-1 タイプと B-1 タイプの 2 タイプのみ

	全体		A-1タイプ		A-2タイプ		B-1タイプ		B-2タイプ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
達成できなかった	11	8.8%	9	9.4%	-	-	2	6.9%	-	-
あまり達成できなかった	25	20.0%	14	14.6%	-	-	11	37.9%	-	-
まあまあ達成できた	71	56.8%	57	59.4%	-	-	14	48.3%	-	-
達成できた	18	14.4%	16	16.7%	-	-	2	6.9%	-	-
合計	125	100.0%	96	100.0%	-	-	29	100.0%	-	-

※上表では無回答を除いた。A-1 タイプの 99 名のうち 3 名は無回答だった。

表 22 課題②「介護ロボット・ICT 導入計画」の達成度

	全体		A-1タイプ		A-2タイプ		B-1タイプ		B-2タイプ	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
達成できなかった	33	12.7%	11	11.1%	14	11.7%	5	17.2%	3	25.0%
あまり達成できなかった	86	33.1%	24	24.2%	45	37.5%	14	48.3%	3	25.0%
まあまあ達成できた	114	43.8%	49	49.5%	50	41.7%	9	31.0%	6	50.0%
達成できた	27	10.4%	15	15.2%	11	9.2%	1	3.4%	0	0.0%
合計	260	100.0%	99	100.0%	120	100.0%	29	100.0%	12	100.0%

©HirokiKobayashi

[https://www.jaccw.or.jp/23R5DT\\_Guideline.pdf](https://www.jaccw.or.jp/23R5DT_Guideline.pdf) 23

## 5 課題の検討

### (1) 研修プログラムに関する今後の課題

#### a 研修の対象者

モデル研修の受講対象の要件は、受講生の実務経験にもとづくものだった。パソコンやオンラインツールを使って演習を中心に行う集合研修では、受講生の IT スキルに差があった。研修の対象者や受講要件等の検討において、受講生の IT スキルによる設定を検討する必要がある。

#### b オンデマンド動画

集合研修開始までに、受講生自身が計画的に受講を進めるものとしてオンデマンド動画を設定した。アンケート等からは受講生の理解度は概ね良い結果が確認できたが、科目構成や集合研修の授業内容との整合性、理解度の確認の方法など、生産性向上に関する理解を深める内容としての検証が課題である。

©HirokiKobayashi

[https://www.jaccw.or.jp/23R5DT\\_Guideline.pdf](https://www.jaccw.or.jp/23R5DT_Guideline.pdf) 24

